

NEWS

通常国会始まる

鳩山内閣となって初めてとなる通常国会が1月18日よりいよいよ始まります。会期は6月16日までの150日間です。会期延長がなければ、夏の参院選は6月24日公示、7月11日投開票となる見通しです。政府は、国家戦略室を「局」に格上げする政治主導確立法案や子ども手当支給法案、高校無償化関連法案、日本郵政グループの経営形態見直しなどを盛り込んだ郵政改革法案など計60本を超える法案を提出する見込みです。

これまで民主党がマニフェストで主張してきた政策を実現させるためにはこれら法案を国会で成立させる必要があります。このうち4月1日が施行日とされる予算関連法案は年度内、つまり3月末までの国会通過が求められます。

また、これと並行して政策を実施する前提となる予算を通過させなければなりません。18日には菅直人副総理兼財務相の財政演説を行い、19日と20日に実施される衆参両院での各党代表質問を皮切りに論戦が始まる見込みです。まずは平成21年度第二次補正予算を今月中に国会を通過させることを目指し、その後、マニフェストの政策を行う前提となる平成22年度本予算の年度内の国会承認を目指すこととなります。

平成22年度予算は公共事業費を対前年度比18.3%削減する一方、社会保障関係費を9.8%、文教及び科学振興費を5.2%それぞれ増加させる予算です。政権交代による政治主導の成果により初めて可能となったまさに「コンクリートから人へ」を実現させる予算を、年度内に通過させ、マニフェストの政策を実現させなければなりません。この通常国会で民主党政権の国会運営の手腕が初めて本格的

に試されることとなります。

その際、政権交代後の昨年の臨時国会から導入された官僚による答弁を原則として認めない「政治家による答弁」がうまく機能するかどうか国会運営上の重要な要素となります。

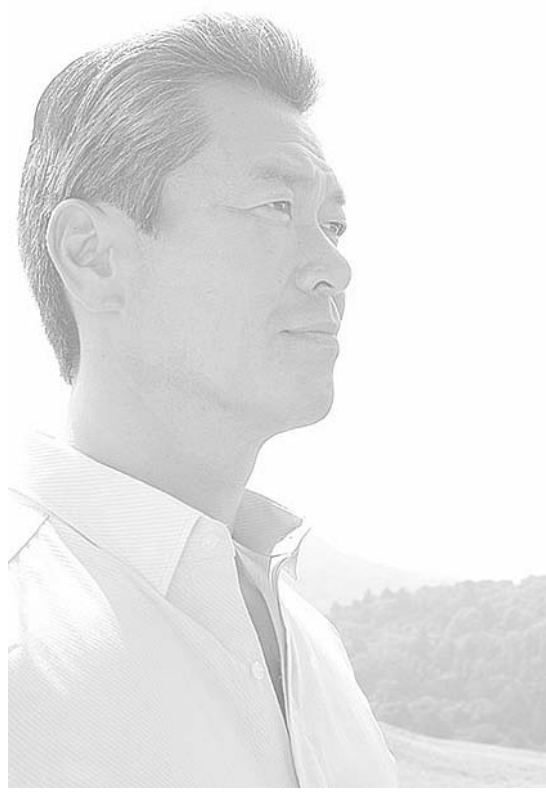
◆政治家による答弁

国会法第69条2項は「内閣は、国会において内閣総理大臣その他の国務大臣を補佐するため、両議院の議長の承認を得て、人事院総裁、内閣法制局長官、公正取引委員会委員長及び公害等調整委員会委員長を政府特別補佐人として議院の会議又は委員会に出席させることができる。」と定めています。しかしこの通常国会で政府は、首相と閣僚の答弁などを補佐する政府特別補佐人から内閣法制局長官を外すこととし、衆参の議院運営委員会理事会で了承されました。政府・与党は内閣法制局長官の国会答弁を原則禁じる国会法改正案の成立を通常国会で目指していますが、運用の変更で成立に先立ち前倒し実施するのです。

内閣法制局は、省庁が作成した法案を閣議にかける前に他の法律との整合性などを審査しますが、自民党政権時代は政府の憲法解釈について半ば独占的に国会で答弁してきました。内閣法制局長官の答弁が禁止されれば、官房長官など、閣僚である政治家が憲法解釈を示すこととなります。憲法や各法律の解釈は政策そのものを縛り、非常に影響が大きいものです。民主主義を採用している以上、本来、政治家が責任を持って答弁すべきです。国会でも政治主導が始まります。(了)

www.mabuti.net

まぶちの「不易塾日記」好評連載中



まぶち会のご案内

私は「渴すれど盗泉の水を飲まず」の言葉のもと、利権ではなく信念に基づいた政治を行うため、一円たりとも企業献金を受けず、政治資金パーティーも行っておりません。私の政治活動は「まぶち会」に入会してくださった方々からの年間寄付金(個人献金)によって支えられています。

主旨にご賛同頂ける方は、お気軽に下記までご連絡ください。

まぶちすみお後援会事務所
0742 (40) 5531

「まぶち会」 についてのご案内

会の名称：「まぶち会」
（政治資金管理団体に同じ）
会費：年間寄付金（一口）10,000円
会期：一年間（政治献金）



◆後援会「まぶち会」とは

「まぶち会」には、二つの目的があります。一つは、私を応援して下さる皆様が一つになれる場所を提供すること。もう一つは、「一円たりとも企業献金を受けない」という信念の私の政治活動を「まぶち会」に入会していただき年会費（政治献金）で支えていただくことです。

私は「同じ目線」ということにこだわってきました。「まぶち会」は、後援会長を頂点とした従来の政治家のピラミッド型の後援会組織とは異なる、フラットなネットワーク型の新しい組織形態と活動を目指しています。ぜひ、皆様の入会をお待ちしております。

入会のお申込、詳しいお問い合わせは

まぶちすみお後援会事務所

TEL 0742 (40) 5531 までお願いいたします。

スタッフ日記

わくわくしています！

新年からボランティアとして参加させていただいている馬淵代議士と同年の新人です。

政権交代から4ヶ月、民主党に対する心配やら不満やらが取りざたされていますが、50年以上も続いてきた自民党政権からのバトンタッチ、そんなにすんなり行くはずがありません。画期的に変わったことも色々あり、私にはわくわく感のほうが大きく感じられます。

例えば、大臣が自分の言葉で話し、動いているのが目に見えること。また、これまでどうにもならないとあきらめていた無駄遣いが事業仕分けで明らかになり、“離れすぎ焼き”もとうとうやめるときが来たらしいこと。それぞれの分野の現場で実際に活動している人が政策決定に参加する

ようになったこと。「事件は会議室で起きてるんじゃない。現場で起きてるんだ!!」・・・やっと現場の意見、問題意識が政治に反映され始めた感じです。

政策がどう決められ実行されて行くか頑張って見えています。

政局だ選挙だという前にこれまで溜まってきた問題を一つずつ良くして行ってほしいと願っています。今年度の総予算組み替えは思ったようにはいかなかったみたいですが、来年度予算こそ本当に人を大切にする政策に優先的に組み替わるのを楽しみにしたいと思います。とかく反対意見のほうが届きやすいので、応援していますという気持ちを行動で表そうと勇気を出してここに来ました。どうぞよろしくお願いいたします。

(カラヤン)

週間活動報告

- 9 土 母見舞い、建築家協会、1区幹事会、第113回シビックミーティング、第58回天下国家を語る会、【講演】大和朝廷権会新春会講演
- 10 日 支持者挨拶回り、枚岡神社、広島へ、広島まぶち会幹事会
- 11 月 支持者面談、松本大輔代議士結婚披露宴、上京
- 12 火 日本住宅新聞社他3社、日経アーキテクチュア、レク（航空局）、国土交通省政策会議、（社）日本倉庫協会新年賀詞交歓会
- 13 水 政務三役懇談会、第5回経済対策検討チーム会合、【挨拶】国土交通省地方局長等会議、定例記者会見、記者懇談会、地方局長等会議懇親会
- 14 木 第12回副大臣会議、建築基準法等に関する意見聴取、レク（官房会計課、河川局、都市局、政策評価室）、春日大社、（社）日本バス協会新年賀詞交歓会
- 15 金 レク（総合政策室、住宅局）、今後の治水対策のあり方に関する有識者会議、藤野幹事長打合せ、税制調査会メンバー懇親会、第6回国土交通省成長戦略会議

衆議院
議員

馬 淵 澄 夫

まぶちへのご意見は、e-mailで：
office@mabuti.net

国会
事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
衆議院 第1議員会館 437号室
TEL 03(3508)7137 FAX 03(3506)3572

奈良
事務所

まぶちすみお後援会（まぶち会）
〒631-0036 奈良市学園北1-11-10 森田ビル6F
TEL 0742(40)5531 FAX 0742(40)5532